

人類の歴史は、いってみれば「民族間紛争」の積み重ねのように思えます。19世紀に入り、ヨーロッパを皮切りに民族意識が高まり、自立と独立を求める民族解放運動が世界中に広まってきました。その動きはクラシック音楽の世界にも当然ながら影響を及ぼし、民謡や民族特有のリズム、ダンス、音階などを取り入れた作品が生まれました。互いの違いを責め合い、武器を持って闘う代わりに、自民族のプライドを音によって誇り、伝えることができる「音楽」って本当に素晴らしい、と思われませんか？

世界がどんどん小さくなり、隣人は自分とまったく異なる言語圏に生まれ育った人かもしれない…そんな現代だからこそ、お互いの違いを尊重し、新しい発見を楽しんで、丸い地球をますます“ま〜るく”していけたら嬉しいですね。

今回のゲスト、岡本行夫さんは日本人としての尊厳を常に保たれながら、世界各国との難しい政治交渉に当たっておられます。彼の世界観にたった、「民族の相違」に関するご意見や体験談などを伺いたいと思っています。

大津純子

民族って なんだらう？

Photo by 加賀見博明

2008年4月25日(金) 6:00開場 6:30開演

代官山ヒルサイドプラザ

ヴァイオリン●大津 純子 ピアノ●岡田 知子

【ゲスト】 岡本 行夫 (国際問題アドバイザー)

曲 目／ロンドンデリーの歌：アイルランド民謡／クライスラー 編曲
南部牛追い唄：日本民謡／佐藤允彦編曲
ハンガリア舞曲：ブラームス／ヨアヒム編曲
ヴァイオリン・ソナタ(1914)：ヤナチェック ほか

※曲目は変更になる場合があります。

会 費／8,000円(ワイン・軽食付き)

予約・お問い合わせ

大津純子室内楽実行委員会

Tel & Fax 03-3486-8740
03-3386-8830

インターネット

<http://www.junko002.com/>

主催/大津純子室内楽実行委員会
協賛/株式会社 アクセル
協力/NPOえこお
株式会社 アルファマインド

